

第 3 回がんに関する普及啓発懇談会について（概要）

〔平成21年3月17日（火） 14：00～16：10
於・三田共用会議所 1 階講堂〕

出席者

天野慎介委員、衛藤隆委員、塩見知司委員、関谷亜矢子委員、
永江美保子委員、中川恵一委員、山田邦子委員、若尾文彦委員
兼坂紀治委員は欠席

概 要

【第 1 部：公開シンポジウム】

がん及びがん以外の分野での先駆的な普及啓発活動の事例が、構成員及び参考人から発表された。

プレゼンター

①韓国でのがん検診受診率 50%達成について

国立がんセンターがん対策情報センターがん情報・統計部長 祖父江 友孝

②英国における「がん当事者の語り」による普及啓発について

特定非営利活動法人グループ・ネクサス理事長 天野 慎介

デパックス・ジャパン：健康と病いの語りデータベース事務局長 佐藤(佐久間)りか

③日本対がん協会の取り組み

財団法人日本対がん協会理事・事務局長 塩見 知司

④がん検診－富山県の取組み－

富山県厚生部健康課 主幹 加納 紅代

【第 2 部：懇談会】

- 中川座長から、韓国のがん検診に関する冊子、検診券等資料の翻訳を行って欲しい旨発言があった。
- 天野委員から、韓国のがん検診の事例発表を踏まえ、個人への受診勧奨通知と検診費用の自己負担軽減についての発言があった。
- 若尾委員から、本懇談会で紹介された事例について、蓄積してゆくべきとの発言があった。
- 事務局から、「がん検診受診率 50%達成に向けた」受診勧奨事業に係るキャッチフレーズ等の募集について（案）の説明と広報誌「厚生労働」特集－がん対策について－の報告を行った。

今後の予定

第 4 回 平成21年5月22日（金）開催予定
（第 4 回以後の開催日程は未定）

第4回がんに関する普及啓発懇談会について（概要）

〔平成21年5月22日（金） 15：00～17：10
於・三田共用会議所1階講堂〕

出席者

〔天野慎介委員、衛藤隆委員、塩見知司委員、関谷亜矢子委員、中川恵一委員、
永江美保子委員、山田邦子委員、若尾文彦委員（兼坂紀治委員は欠席）〕

概要

【第1部：公開シンポジウム】

がん及びがん以外の分野での先駆的な普及啓発活動の事例が、構成員及び参考人から発表された。

プレゼンテーマ

- ①「BRAVE CIRCLE大腸がん撲滅キャンペーンについて」
BRAVE CIRCLE運営委員会事務局 山岡正雄
- ②「乳がん検診率50%以上達成に向けた戦略的施策の概要について」
フジフィルムメディカル株式会社執行役員・マーケティング部長 岡本昌也
- ③「酒田市の取組について」
山形県酒田市健康課成人保健主任 荒井佳代
- ④「マーケティング手法を用いたがん検診受診率向上の取組について」
株式会社キャンサースキャン 福吉 潤

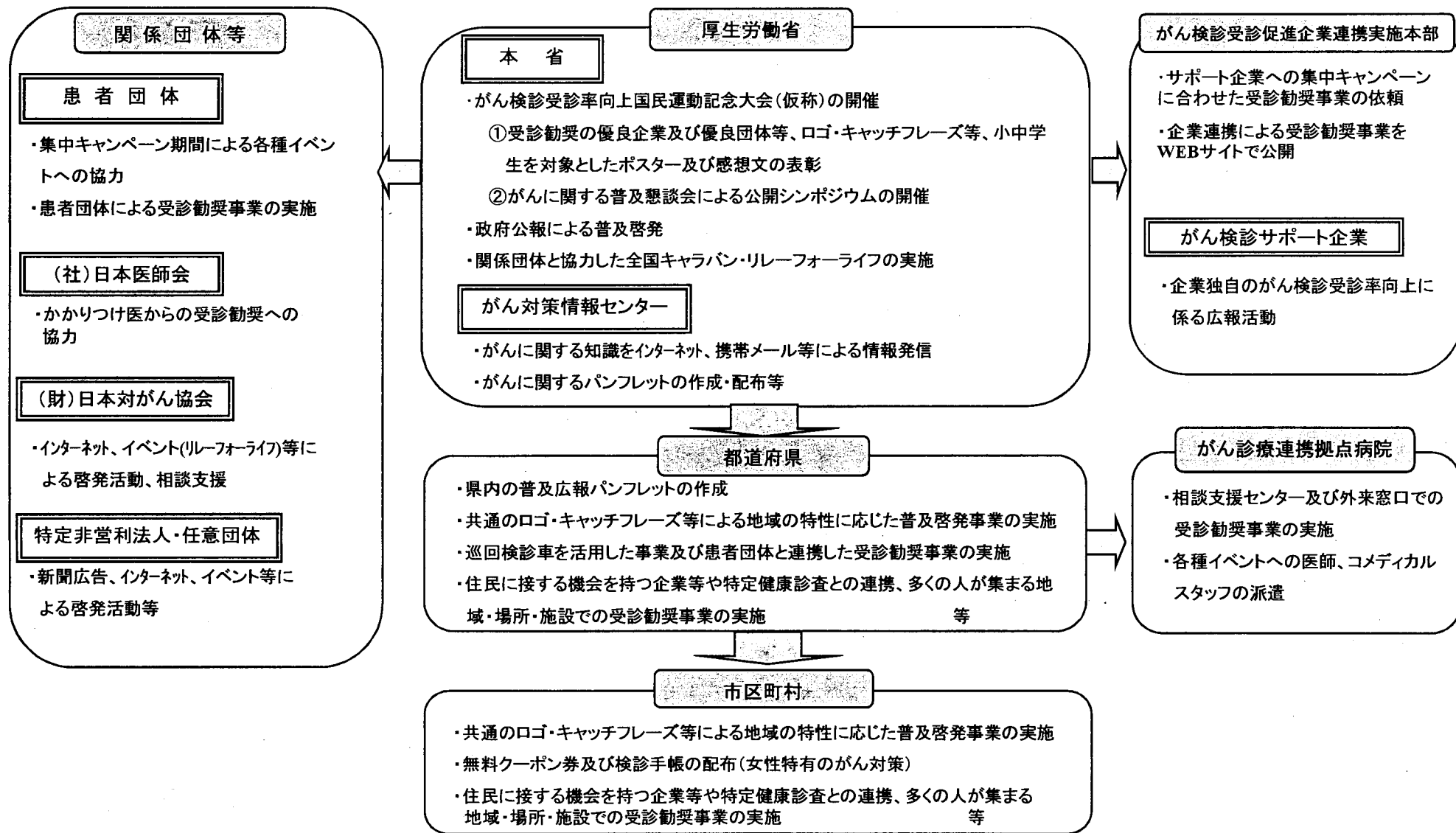
【第2部：懇談会】

1. 事例発表に対してのフリーディスカッション
 - 塩見委員から、女性特有のがん対策（検診無料クーポンの配付等）は非常に大切であり、これを機会にインフラ構築をしっかりとすべきとの発言があった。
 - 永江委員から、啓発運動により認識を深め、その場で検診の受付をしていくというシステムは良いものであり、このような企業連携が必要であるとの発言があった。
2. 平成21年度補正予算案の概要について報告
3. 「がん検診受診率50%達成に向けた」受診勧奨事業によるキャッチフレーズ等の評価
 - 応募総数は、キャッチフレーズ613作品、イメージキャラクター65作品、ロゴマーク119作品であった。
 - 事前に、応募作品の中から、委員の投票による一次選考を行っていたが、当日は二次選考として、各部門毎に上位の作品を選考した。
4. がんに関する普及啓発懇談会事例集の作成（案）
 - 若尾委員から、事例集の概要版は簡略化して、詳細版に詳しく書くようなレイアウトが良いとの提案があった。

今後の予定

今後予定されている、がん検診受診勧奨事業の進捗等を踏まえて調整予定。

がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーンイメージ



集中キャンペーン(今年秋)に併せて、国・自治体・企業・関係団体等が相互に連携・協力して一体となった受診勧奨事業を展開